

キャラクター名  
芥子ヶ丘 澄夏(けしがおか すみか)

プレイヤー名

シンドローム	エンジェルハイロウ モルフェウス		ワークス	高校生	カヴァー	高校生
	オプション		年齢	17	性別	女性
覚醒	渴望	衝動	解放	初期侵食率	35	%
出自	安定した家庭	経験	平凡	邂逅	誰か	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	25
肉体	1	1	0			2	行動値	11
感覚	5	0	0			5	(非装備時)	11
精神	1	0	0			1	戦闘移動	16
社会	1	0	0			1	全力移動	32

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃		3	RC	2		交渉		
回避	1		知覚	1		意志			調達	3	
運転:			芸術:			知識:			情報: 噂話	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ハンドレッドガンズ	射撃	5r+2	0	15+1D		
shoot the breeze	射撃	5r+2	0	15+1D		1+2+3
shoot the moon<100↑>	射撃	17r+2	0	18+1D		0+1+2+3 《100↑》

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
携帯	
制服	
カジュアル	
思い出の一品	
サイドリール	
コネ:UGN幹部	
バイク	
救急きつ	

合計装甲: 0    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タリ	消費
Dロイス:特異点	P	N		
伏見和希	P 懐旧	N 恐怖		
カリン	P 友情	N 隔意		
怪盗C	P 憧憬	N 不安		
國領	P 好奇心	N 脅威		
シンデレラ	P 執着	N 侮蔑		
アモン	P 尊敬	N 悔悟		

最大財産P: 8    残り財産P: 0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
サポートデバイス	5	6	セットアップ	至近	自身	自動成功	80↑	
効果:	ラウンド中選択した能力値D+Lv*2							
ハンドレッドガンズ	1	3	マイナー	0	0	自動	0	
効果:	武器を作成							
Cl:エンジェルハイロウ	2	2	メジャー	0	0	対決	0	
効果:	C値 - lv							
小さな塵	5	2	メジャー	武器	0	射撃/対決	0	
効果:	攻撃力+Lv*2							
Rf:エンジェルハイロウ	2	2	リアクション	0	0	対決	0	
効果:	C値 - lv							
神の目	1	1	リアクション	至近	自身	知覚/対決	0	
効果:	知覚でドッジを行う							
陽炎の亡霊	1	6	オート	至近	自身	自動成功	100↑	
効果:	ドッジ成功時にメインプロセス。行動済みでも行うことが出来、行動済みにならない。							
ギガンティックモード	1	3	メジャー	武器	範囲(選択)	0	0	
効果:	範囲化。							
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

両親が居て、弟が居て、友達が居て。日常らしい日常、平々凡々とした。  
 近頃は特に目的も無く夜に出歩くことが増えている。みんなが寝静まった頃にコンビニへ行ってみたり、映画館へレイトショーを見に行ったり。代り映えしない日常への本の少しの食傷と物語のような世界への憧れ……それもまた、年相応の。  
 戦いに臨んだこともない。特殊な技能も知識もない。夢見た景色と実際に見た現実が重なったなら、彼女は、当たり前前に恐れ、そして、当たり前前に嫌悪するだろう。そんな世界を夢見ていた、自分の浅はかささえ。

コンボ shoot the breezeは彼女自身にのみ見える、銃口から伸びる光の射線……それを目標に重ねる事で正確に急所を撃ち抜く攻撃法。所謂セルフレーザーポインター。敵に気取られ難い以外は完全に普通の銃撃である。  
 この光の線は、自身の攻撃にのみ発生するものではない。敵の持つ武器が銃であれば自身のそれと同じくその射線、刃物であればその刃が描く軌道、爆破物であればその威力の届く範囲……自身に死を齎す物が描く軌道もまた、光として彼女は捉える。その光はまだ非常に頼りなく、薄っすらとしたものではあるが、知覚出来れば致死を回避することも容易だろう。